



4月

保育所だより



令和2年4月号
北部保育所
Tel 0853-68-0106
090-5706-2898

保育所のチューリップが、春風に気持ちよく揺れています。
今年度は、16名の子どもたちと8名の職員でスタートしました。自然豊かな環境を活かし、家庭的なぬくもりのある保育に職員一同力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。

また、今年度も保護者の皆様や地域の方々とのおふれあいを大切に、豊かな人間関係の中で楽しい活動を実施し、『地域の宝』として一緒に子どもたちを育てていきたいと思ひます。皆様の温かいご支援ご協力をどうぞよろしくお願いしします。

4月の行事予定

- 1日(水) 保育開始
- " おあつまり会
- 6日(月) 入所のつどい
- 7日(火) 身体測定
- 9日(木) 絵本の貸し出し開始
- 15日(水) 弁当の日
- 20日(月) 避難訓練、集金日
- 23日(木) 誕生会★
- 24日(金) クッキング(よもぎ団子)
- " 北部子育て応援倶楽部
- 29日(水) (祝) 昭和の日
- 30日(木) 家庭訪問(～5/1)*



*詳しくは、後日お便りでお知らせします。
★ミニ保育参加の日～今年度も行います。

送迎時の事故防止についてのお願い

駐車場が狭く、ご不便をおかけいたします。朝夕の送迎時には込み合いますので、譲り合って事故のないように気をつけていただき、次の点にご協力をお願いします。

- ◆車の乗り降りはお子さんと一緒にし、ドアの開閉は必ず大人がしましょう。
- ◆駐車場では、必ずエンジンを切り、車の鍵を抜きましょう。
- ◆チャイルドシートまたは、ジュニアシートを使用しましょう。
- ◆門扉出入りの際は大人が開閉を行いましう。(子どもはしない。) 他のお子さんが一緒に出ないよう、気をつけましよう。



今年度の職員を紹介します

所長 錦織 晴美

7年目を迎え、気持ちを新たに子どもたちや保護者の方、地域の方から愛される保育所を目指します。

副主任保育士 岩成 咲子

保護者の方とお子さんの成長を見守ったり、楽しく子育ての話をしたりしたいと思ひます。

かもめ組(3・4・5歳児)担任 福島 梨恵

子どもたちとたくさん楽しいことを見つけて元気に過ごしたいと思ひます。

もも組(0・2歳児)担任 多久和 紀子

一人一人の気持ちに寄り添いながら、一緒に楽しいことをたくさん見つけていきたいです。

フリー保育士 角 綾子

歌を歌うことが好きなので、毎月いろいろな歌を歌ったりピアノの音を聞いたりしながら笑顔絶えない楽しい時間を子どもたちと一緒に過ごしていこうと思ひます。

栄養士 川上 智恵

子どもたち一人一人の顔を思い浮かべながら、おいしい給食を作ります。

栄養士 祝部 美奈子

子どもたちの心と身体を元気にする温かい給食作り、雰囲気作りをしていきます。

保育補助 南場 佳代子

子どもたちの明るい笑顔と、たくさんの花のある日々をしていきたいと思ひます。

* ご寄贈ありがとうございました *

きんかん～保護者様 大根～保護者様
りんご～保護者様 スウィーティ～保護者様

ご入所、ご進級おめでとうございます



○保育目標 喜んで登所しよう

一人一人の思いを受け止め、安心して過ごせるようにするとともに「保育所って楽しいな!」と感じて、喜んで登所できるようにしていきたいと思ひます。

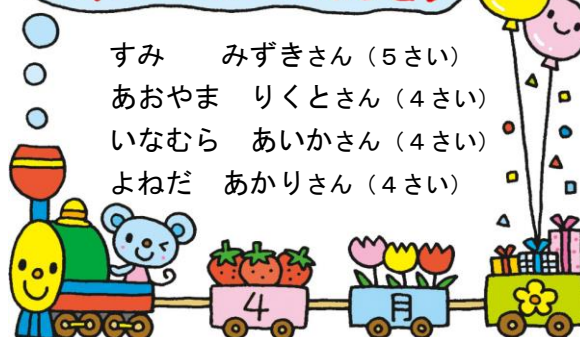
春の自然にふれて遊ぼう

保育所周辺に出掛けると、わくわくする発見がきっとあるはず。春の草花を摘んだり、おたまじゃくしを見つたりして春の自然を楽しみます。

○生活目標 元気よくあいさつをしよう

昨年度の年長さんの姿を見ていて、他の子どももあいさつができるようになってきました。今年度も、気持ちの良いあいさつが交わるようにしたいと思ひます。

おたん生日おめでとう



お願い・お知らせ

*身長体重測定について

毎月測定を行い、結果を2歳児以上はシール帳に0歳児は発育表に記載しますのでご覧ください。

*家庭訪問について

担任がご家庭を訪問し、お子さんの様子についてお話を聞かせていただきます。

*絵本の貸し出しについて

9日(木)から絵本の貸し出しを行います。毎週木曜日に貸し出しを行いますので、翌週の火曜日に返却してください。保護者向けの貸し出しも、ぜひご利用ください。

*佐香っ子デーについて

地域の人とのふれあいや、自然に親しむために三津町、小伊津町、坂浦町へ出かけていきます。

*子育てエール*新しい生活を前に、親の自分が緊張しています。

子ども以上に、親が不安、ということはよくあるんですよ。親の不安感、子どもにすぐ伝わります。「うちの子、大丈夫かな」という不安な気持ちはわかりますが、子どもをできるだけ信頼してください。子どもには、自分で解決する力がもともと備わっています。赤ちゃんでさえ、親から離れると、どうにかしてうまく生きていこうと努力します。

そして、園に子どもを預けたら、私には私のやることのあるからそこに専念しよう、という風に、一度自分の気持ちを切り替えましょう。そうすると親の緊張が子どもに伝わらずに済み、子どもにとってもプラスが多いと思ひます。(雑誌『母の友』より抜粋)

もしご心配なことがありましたら、遠慮なく相談してくださいね。

今年度も、子育てのヒントになるよう*子育てエール*のコーナーを設けます。ぜひ読んでください。